



ともに生きる 響きあう心で つながる未来へ

## 第 36 回

# 豊橋男女共生フェスティバル

## 報告書

令和 5 年 1 月 15 日 (日)

### 第 36 回豊橋男女共生フェスティバルを終えて

第 36 回豊橋男女共生フェスティバル実行委員会 実行委員長 江坂 雅世

今年は豊橋技術科学大学の岡田美智男先生に来ていただき、『〈弱いロボット〉に備わるチカラとは?』と題して講演会をしていただきました。大きなスクリーンで映像も交えて、最先端の話題を分かりやすくお話していただき、多くの参加者から口々に「いい話をありがとう。」と言ってもらいました。「利便性の追求は、一方で私たちの傲慢さを引き出しやすく、寛容さを失わせている側面もある。」との指摘は、まさしく世の中が効率を求め、自己責任とギスギスしていることへの、疑問投げかけであります。また「すべての人は、誰かをケアしないではいられない存在なのだ。」とは、みんなで幸せになっていくための核心だと感じました。私たちは誰かに手助けしてもらおうと嬉しい気持ちになるし、誰かの手助けになれたり、一緒に何かを成し遂げた時も、とても嬉しくなる。そのことを改めて思い起こし、心がじんわり温かくなりました。人間にもロボットにも弱いところがあっていいよね。弱いことってまんざら悪くないよね。いいえ、弱いからこそ、相手の強み、優しさを引き出すことができる。弱さこそが持つ可能性がある。そのメッセージを多くの方が受け取ったことでしょう。そして私自身『一人一人が大切にされ、安心して弱者になれる社会』を作っていきたいとの思いを再確認し、今後の活動への強力な後押しになりました。

『ともに生きる 響きあう心で つながる未来へ』その視点に子どもたちも一緒に立てほしいという私の企みは十分叶うものではなかったが、オープニングでのびのびと表現する「空～Q o u～」の子どもたちから力強いメッセージを頂いたり、ロボットとなんとかコミュニケーションを取ろうとする子どもたちから愛と勇気をもらい、子どもたちこそがこの閉塞感ある世の中を変えていく原動力になる！そんな思いを新たにしました。

最後に経験の浅い、未熟な委員長を支えて、フェスティバルをなんとか盛り上げようと一緒に頑張ってくださった実行委員の団体の皆さん、本当にありがとうございました。

## 開会式

オープニングは「豊橋マリンバの会」の皆さんによる演奏と、「空～Q o u～」の皆さんによるダンスで、会場が華やかな雰囲気になりました。

森田康夫副市長からは、「市民の男女共同参画意識は着実に向上しているが、男女平等感が広がっているとは言えない状況であり、男女共同参画のさらなる推進が必要である。12月議会において男女共同参画推進条例を改正したことを機に、性の多様性を尊重する社会づくりにも精力的に取り組んでいく。」と挨拶がありました。



## 講演会

### 〈弱いロボット〉に備わるチカラとは？ ～あなた（Y o u）と私（I）から私たち（W e）の関係へ～

講師

#### 岡田美智男さん

豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授  
人間・ロボット共生リサーチセンター長

1960年福島県生まれ。1987年東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了。NTT 基礎研究所、国際電気通信基礎技術研究所(ATR)などを経て、2006年より現職。専門分野は、コミュニケーションの認知科学、社会的ロボティクス、ヒューマン・ロボットインタラクション。

主な著書に、『ロボット共生に向けたインタラクション』（東京大学出版会）、『〈弱いロボット〉の思考』（講談社現代新書）、『弱いロボット』（医学書院）など。



〈弱いロボット〉を手がかりに、お互いの「弱さ」を補いあい、それぞれの「強み」を引き出しあう社会について語っていただきました。

皆が寛容になり、人権を尊重しあうことができれば、男女共同参画・性の多様性を尊重する社会の実現につながるでしょう。

## 催しと活動発表

### 【分科会1】

こまのおっちゃんのこまのサーカス

企画：豊橋おやこ劇場協議会



### 【分科会2】

不登校・発達障害・子育て困ったしゃべり場

企画：新日本婦人の会豊橋支部



### 〈弱いロボット〉展示会



### 絵本でティータイム

企画：わっぱの会



### ふれあいコンサート

企画：ハッピーグループ



### 手織り機で小物を織ってみよう！

企画：農村輝きネット・東三河



## 催しと活動発表

性の多様性を考える  
「もし、カミングアウトを受けたら」  
企画：豊橋市 市民協働推進課

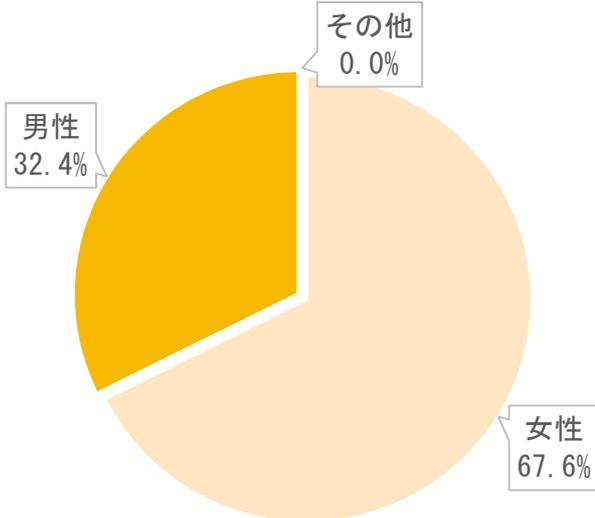


バザー  
企画：豊橋おやこ劇場協議会、ハッピーグループ、(公社)豊橋市シルバー人材センター綺羅の会、SIMONEKO、箏曲蘭友会

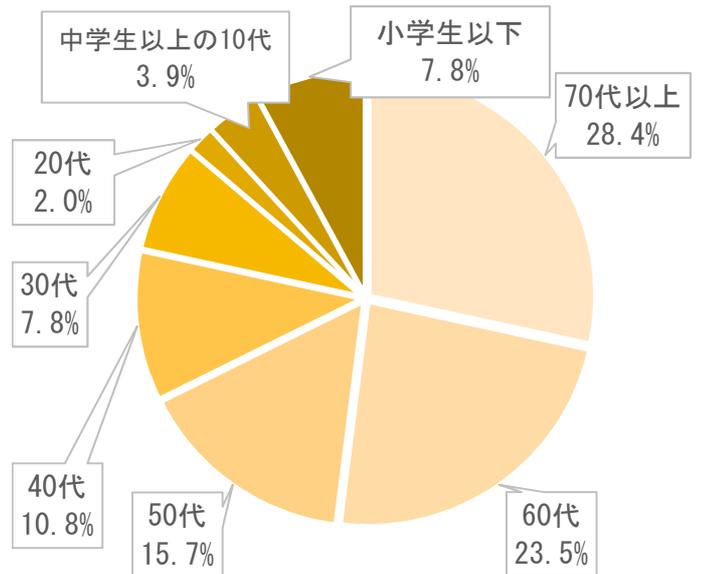


## 講演会アンケート結果

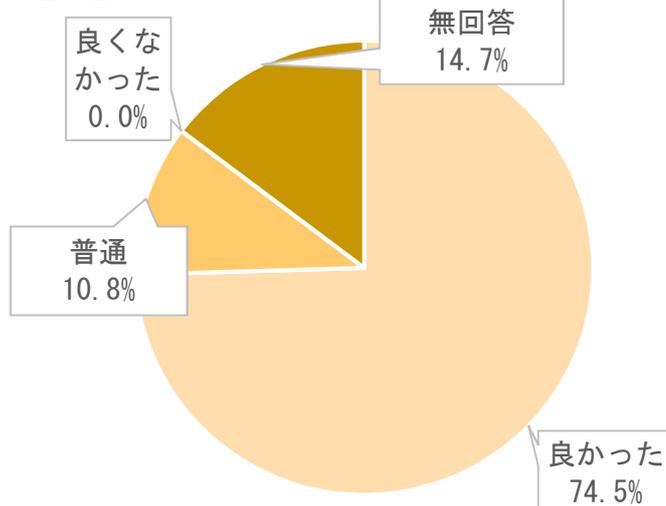
### 性別 (回答数：102)



### 年齢 (回答数：102)



### 感想 (回答数：102)



## 講演会アンケート結果

### 講演会に参加された方の声

- ・ おもしろい内容でした。弱い立場、力が弱いことは、恥ずかしいと考えていましたので、新しい視点をいただいたような気がします。誰かの役に立っている、お互いがwinの関係がいいなと思いました。
- ・ 子どもを育てていく中で、大切なことはなにかと考えさせられました。
- ・ サービスを提供する側、サービスを受ける側の間で不寛容な社会においては、いらぬいざかいが起きてしまっていると感じています。人々の心に余裕がない世知辛い世の中ですが、人の優しさを引き出す取組み、人のために動けるのが当り前の社会にしていきたいですね。



## 第 36 回豊橋男女共生フェスティバル実行委員会

### <実行委員会所属団体>

わっぱの会、とよはし未来を拓く会、豊橋おやこ劇場協議会、東三にじの会、新日本婦人の会豊橋支部、ハッピーグループ、豊橋商工会議所女性会、マザーズサポート“きらら”、豊橋マリンバの会、  
(公社)豊橋市シルバー人材センター綺羅の会、SIMONEKO、箏曲蘭友会、  
農村輝きネット・東三河、NPO法人クオーレ、NPOとよはしCAP

全 15 団体

発行：豊橋男女共生フェスティバル実行委員会・豊橋市  
〒440-8501 豊橋市今橋町 1 市民協創部市民協働推進課  
電話 0532-51-2188/FAX 0532-56-5128

(令和5年2月発行)